

会 議 録

会 議 名 (審議会等名)	川 西 市 社 会 教 育 委 員 の 会		
事 務 局 (担 当 課)	生涯学習部 社会教育課 (内線 3421)		
開 催 日 時	平成17年11月30日(水) 10時00分～12時00分		
開 催 場 所	川西市役所 第B01会議室		
出 席 者	委 員	森議長・小柳副議長・正親委員・敷地委員・後藤委員・佐道委員・武村委員・生田委員・嶋崎委員・江本委員 計10名	
	そ の 他		
	事 務 局	雪岡中央公民館長・横田主幹・山川課長・白石主査 計4名	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	1. 報告 1) 阪神南地区社会教育委員協議会研修会について (10/31) 2) 兵庫県社会教育委員協議会中央研修会について (11/17) 3) その他 2. 議題 1) 年間テーマは、昨年度と同様「よりよい地域システム作り」、サブタイトル「青少年の居場所を求めて」 3. その他		
会議結果	別紙のとおり		

森議長……今回は2つの研修会の報告があります。

一つは、阪神南地区社会教育委員協議会での研修ですがこの件についておもしろい記述があったので紹介します。

芦屋市の最近の出来事からみた社会教育の反省の事例で、『放置車両撤去作業中』の車が近づいてくるのに単車の横で眺めている人がいた。作業者が「ここに置くのですか」と尋ねるとなすびいた。「困りますなー？」と注意をするも、「撤去シールが無いと撤去出来ないでしょう」と言い作業車が行くまでまっていた。

学校教育の荒廃、家庭教育の断絶、社会生活では自己中心的な行動がまかり通っている。社会常識と言うものが欠落し、個人の利害が社会規範を歪めている。

厚かましいもの、悪知恵が働くものが得をし、正直者がバカを見る社会に対し、社会教育は為すすべを知らない。

今の社会は、実際この通りだと思う。今後の社会教育委員の会において参考にしてはと考える。

生田委員……今までの歴史や地域との関係があるにしても思い切ってやるべきだろうと思う。地域の方に言わせると指導者の問題も出てくるが場所の問題も考えていかないといけない。

森議長…… 体育指導員研修会のスポーツカルチャーで登録されているボランティアにアンケートを取ったところ、時間的な制約があるので活動出来るか判らないと言う結果になった。ボランティアでなく報酬を渡さなければ活動出来ないのかと考えさせられた。

嶋崎委員… 小学校では情操教育も行っているが、これからは地域の中で高齢者との関わりが大切であり、また関わりやすい部分もある。そういう方がどんどんボランティアで参加され小学校と関わりを持つことが体験や、経験につながっていく。また、関わって行くのには小学生の方がよい。

* 主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

この様な関わりが続けば、中・高生に反映されていく気がする。

正親委員... 人間は本質は変わらないと思う。学校の授業の中でも人間性が出てくる。例えばなんでこの様な答えが出たかを教師が理解する事で人間性が養われる。クラブ活動においてもクラブ活動の指導者は強くする事を教えるだけでなく学校の授業よりも人間性が入って来る。クラブの指導者は、上手にやるだけでなく、しつてとかを反映させることが大切であると思う。

嶋崎委員... 学歴社会と言われる中で日本の教師は、客観的、数値的にどうなっているのか。

日本の教師は、世界的に見て子どもにコミットしている教師は世界に類を見ない。海外に研修に行った先生にも同様に感じている。日本の教師は、総合職と言われている。ヨーロッパの教師は、教える教師であり校門を一步出ると家庭の責任であると考えている。責任がはっきりしている。

日本の教育が機能しなくなったのは、すべてしょい込んだことが原因である。

また、学校の土・日曜日の休校は、生徒間の格差の広がりをもたらして来ている。

佐道委員... 学校や家庭以外で地域の人たちが関わり、情操教育、経験、道徳等教わる形になれば良いのと思う。

正親委員... 学力の低下は心配していない。どちらかと言うと家庭での躰を十分にすることが重要だと考える。

敷地委員... 幼児から小学校低学年までの躰が大切で、それ以降わざわざ教えることは遅くて身につかない。小学校低学年までの間に家庭としていかに接するかが大切となる。例えば、子どもにおもちゃなどをせがまれた時などに、すぐに買い与えるのではなく、本当に欲しいのか、必要なのか、また辛抱をさすことも必要である。

生田委員... 地域のシステム作りには色々な背景があるが地域に格差が出てきている。人は信じていたい、信じられないものがある。今回の国会の答弁における耐震性偽造マンションは良い事例ではないかと思う。地域作りの中で、或いは、公民館活動の中でボランティア活動などを一生懸命やっている人たちを含め、或いは人間性を含めて価値に値する人たちが指導して行く、そんな時代に持っていかなければならないし、そう言う空気に持っていきたい。

現在の公民館は、同じメンバー、同じ顔ぶればかり見かけるその様な現象に陥っていると思う。輪を広げていく、それをいかに構築していくのが課題である。公民館は、心の部分できっかけを

作る良い場所だと思っている。

後藤委員... こないだ公民館に行ったらバザーの様な物をやっていた。多くの人たちが集まりバザーに出し、大人のコミュニケーションが出来、また子どもも集まりそういう所で子ども達が生き生きと動いているのを見ると地域の連携が一層必要だと感じた。

事務局..... 公民館で伝統文化と言うことで、お茶とかお華を、子ども達を対象に行ってきた。最初は、子ども達が集まるのか、伝統文化を受け入れてくれるのか心配していた。しかし終わって見ると一年間でこんなにおしとやかになったと感じられ実施して良かったと思う。

嶋崎委員... 日本では生まれた時は悪人はいない、周りを取り巻く環境が悪を作ると言う考え方。逆に外国では悪い人間は必ず何%かはいると言う前提で対策を立てている。学校給食などに薬物を入れるなどは考えられなかった。

武村委員... クラブ活動について、子ども達は、教えてもらうと言うことでなく、自分たちがやっていると言う意識を持っている。また、上下関係が学べる所とも思っている。

クラブ活動を通して子どものやりたいこと、学校にしてもらいたいこと、地域がやれることを一つの方法として組織的に出来るのではないか。